

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	48	事業名	地域社会体育事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	-----	----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	款	9	教育費
		施策の進め方	1	スポーツ活動の推進	項	5	保健体育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	保健体育費
		政策分類	-		大事業	6	地域社会体育事業
	その他(関係法令、要綱等)	-					
事業開始の背景、経緯等	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強めることを目標とする。 幅広い年齢層を対象として「歩く、走る、泳ぐ等」といった各種スポーツイベント及び教室を開催する。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 軽スポーツやファミリースポーツの普及及びレクリエーションスポーツイベント等の開催 年齢層を問わず参加できるスポーツ教室や健康づくり教室の開催や場の提供 競技スポーツの推進					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学者を含む)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が参加できるスポーツ種目の増加を図り、市民の健康意識の向上や家庭、地域の交流を推進する。					
	事業を 構成する 事務事業	① 社会体育事業	改善・見直し	④ 学校プール開放事業	改善・見直し		
	② マラソン大会事業	改善・見直し	⑤ 愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業	現状維持			
	③ 文化スポーツクラブ事業	現状維持	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		11,802	14,574	14,052
決算					11,121	12,714	13,144	
人件費(B)	千円	決算		3,436	3,430	4,638		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		14,557	16,144	17,782		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	スポーツ教室の申込率	%	目標	82.1	80.9	82.6	82.9
実績				81.3	83.8	81.8	81.1	
B	マラソン大会の参加者数	人	目標	1,470	1,540	1,500	1,500	2,000
			実績	1,153	1,189	1,392	1,760	
C	学校プール開放参加者数	人	目標	2,350	2,300	3,500	2,565	2,442
			実績	1,557	1,424	2,443	2,326	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A スポーツ教室の過去2年間の申込率平均+5%を目指す。								
B 平成30年度は、マラソン大会の参加者数2,000人を目指す。								
C 学校プール開放事業の1校あたりの参加人数+5%を目指す。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町で独自にスポーツイベント等を実施
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) スポーツ教室の申込率目標82.9%に対して81.1%で、前年度に比べても0.7%の減少であった。 マラソン大会の参加者数目標1,500人に対し、1,760人で目標値を260人上回った。 学校プール開放参加者数目標2,565人に対し、2,326人で目標値を239人下回った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 概ね目標達成をしているが、スポーツの多様化やスポーツイベントに求められる考え方も変化しており、本市の地域社会体育事業のあり方について市民ニーズ等把握し、事業展開を図っていく必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 広く市民のスポーツ及び健康づくりに関するニーズを調査・把握し、参加者の向上を目指す。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成31年度までに策定する長久手市スポーツ推進計画と実施事業との整合性を図る。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域社会体育事業										
番号	①	事務事業名	社会体育事業		款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成18年度		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学の方に、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツ教室を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		3,162	3,489	3,135	3,015
		決算		2,887	2,825	3,153	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①		スポーツ教室等講師委託				1,373	千円
②		スポーツ教室等講師報酬金				591	千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
スポーツ教室の申込率	%	目標	82.1	80.8	82.6	82.9	82.6
		実績	81.3	83.8	81.8	81.1	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）> 市内在住、在勤、在学の方に、スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるよう市内のスポーツ施設を使用し、スポーツ教室を22教室開催し、教室延べ定員481人に対し401人参加した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

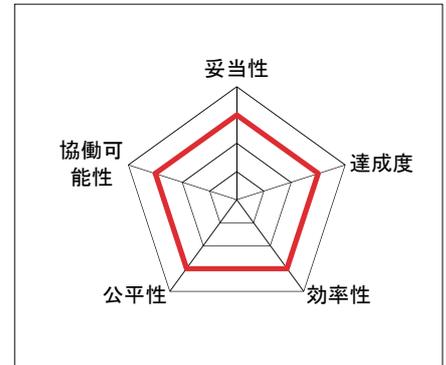
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) スポーツの種目等が多様化し、スポーツに対するニーズも様々なものとなっている。また、健康志向の強いスポーツが増加している。
--

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> 教室毎にアンケート等を実施し、教室参加者の求める教室を把握し変化を付けたい。
(何をどのような状態に改善したのか) 参加者アンケートを実施し、既存の教室の参加者の満足度や改善点について把握し、講師に伝えることで教室の内容の改善を図った。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 市内在住、在勤、在学の方に、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツに親しむスポーツ教室を22教室開講し、健康と体力の維持増進に貢献できた。
---

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 申込率が横ばい状態である。申込率上昇のため、これまで実施している教室の参加者アンケートだけでなく、教室に参加していない市民に対し、アンケートを行い、ニーズを把握する必要がある。
--

## 7. 今後の方向性

### 改善・見直し

【コメント】 (改善の方法、今後の具体的展開など) アンケートを行うなど、市民ニーズを把握し、今後の教室の内容について検討していく必要がある。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	地域社会体育事業								
番号	②	事務事業名	マラソン大会事業		款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成10年度		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 走ることが好きな人を対象に愛・地球博記念公園を使用して新春ふれあいマラソン大会を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにするとともに参加者のふれあいの場とする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		777 747	931 789	788 927	1,014
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① マラソン大会会場設営委託						408	千円
② 消耗品費						147	千円
③ 印刷製本費						117	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
参加者数	人	目標	1,470	1,540	1,500	1,500	2,000
		実績	1,153	1,189	1,392	1,760	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
走ることが好きな人を対象に愛・地球博記念公園を使用して新春ふれあいマラソン大会を開催した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

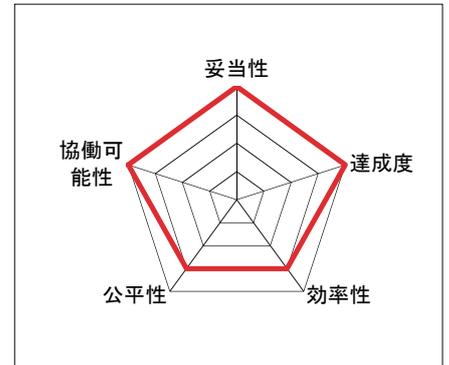
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
マラソン競技人口の増加により、参加者のマラソン大会に求めるニーズが多様化してきている。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
昨年のコスプレ賞の導入に加え、参加者が楽しめる企画を導入する。
(何をどのような状態に改善したのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>応援手旗を立哨員に配布し、沿道からの応援を行い、参加者からも好評を得た。</li> <li>昨年度の和太鼓演奏に、今年度はチアダンスの演出を加え、さらなるふれあい効果を図った。</li> </ul> 以上の結果、1,760人の参加に繋がり、次年度の継続的な参加に期待が得られた。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 平成28年度から市民団体による太鼓の演奏などを取り入れ、参加者同士や運営に関わる人とのふれあいを意識したイベント内容とし、誰でも気軽に参加できるマラソン大会としている。
---

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 参加者が増加したことにより、適正な運営のため、運営スタッフ等の増員が今後必要である。
--

## 7. 今後の方向性

### 改善・見直し

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 参加者アンケートを初めて実施し、参加者の大半が現イベント内容に満足していることが分かった。そこでは競技性を高めていくよりも、現行のふれあいマラソンとしての内容を高めていくことが「新春ふれあいマラソン大会」の参加者増に繋がるものと考え、その内容を検討していく。また、参加者が増加することによる運営の体制についても一般ボランティアを取り入れるなど検討していく必要がある。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域社会体育事業									
番号	③	事務事業名	文化スポーツクラブ事業	款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成14年度	終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 児童生徒の学校部活動を地域や行政と共に支援するもの（外部指導者、指導手当の予算化、大会の開催等）
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童生徒への様々な文化・スポーツを学ぶ機会を提供し、心身の健全な成長を図る。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		5,405	5,497	5,330	5,430
		決算		5,402	4,727	4,529	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		文化スポーツクラブ指導員報償金				4,232	千円
②		損害保険料				183	千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
指導者数	人	目標	85	85	107	107	123
		実績	85	107	96	123	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞ 児童生徒の学校部活動について外部指導者の登録、指導手当の支援を行うことにより、学校教員の多忙化の軽減や児童への様々な文化・スポーツを学ぶ機会を提供した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

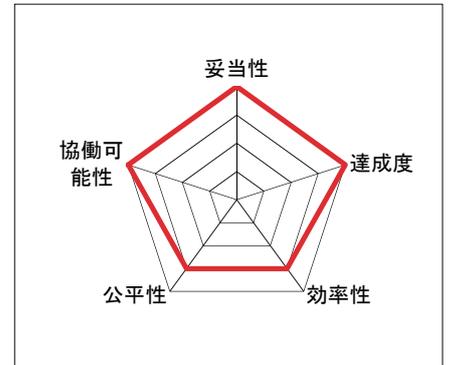
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 部活動顧問の負担軽減のため、今後の部活動のあり方を地域も交えて検討する必要がある。
---

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞ 学校教職員の負担軽減のため外部指導者の人材確保が必要である。
(何をどのような状態に改善したのか) 本事業の周知を地域に行うことで、指導者数は96人から123人に増加した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 外部指導者の登録により、学校教職員の多忙化の軽減及び指導補助が行えた。
--

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 新しい外部講師の確保が課題である。
---

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) ・小学校の現場では、部活動指導の多くを正規職員で賄っている現状があり、人材確保のため、地域の人材等情報提供を学校に行うことで登録指導者を増やすしていく必要がある。
---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	地域社会体育事業								
番号	④	事務事業名	学校プール開放事業		款	9	項	5	目	1	大	6	中	4
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成14年度		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民に対し、8月の夏休み期間中に長久手小学校及び南小学校のプールを開放する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市民の体力増進・泳力向上と夏休みの地域・親子のコミュニケーションを図る。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,213	4,512	4,524	4,570
		決算		1,965	4,225	4,303	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 学校プール開放管理委託						4,184	千円
② 消耗品費						111	千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
参加人数	人	目標	2,350	2,300	3,500	2,565	2,442
		実績	1,557	1,424	2,443	2,326	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
市民に対し、8月の夏休み期間中に市民の健康増進と体力づくりを目的として長久手小学校及び南小学校のプールを開放し、長久手小学校1,300人、南小学校1,026人の参加があった。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

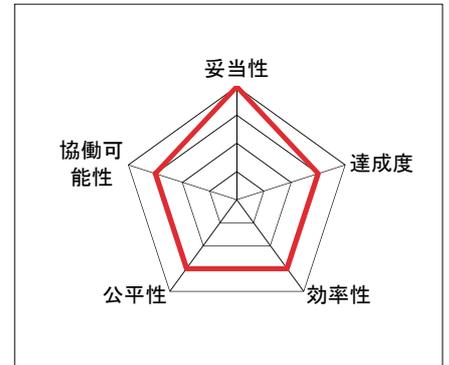
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度までは長久手小学校1校での開放だったが、平成28年度からは、長久手小学校と南小学校の2校を開放し、利用者が参加しやすい状況とした。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
毎年減少傾向にある参加人数の増員を目指したい。
(何をどのような状態に改善したのか)
広報やHPによりPRを行ったが、昨年度と比較し、参加者が117人減少した。悪天候の日が多かった影響による減少もあるが、今後PRを行うことにより参加者の増加を図る。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
長久手小学校と南小学校のプール施設を使用し、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康と体力の維持増進に貢献できた。また、親子のコミュニケーションの場を提供することができた。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
2校の平均参加人数が、1,163人と毎年減少傾向にあるため、参加人数の増加を目指したい。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
広報やHPによりPRのみでなく、チラシを作成し、学校配布を行うなど、PR方法を見直す必要がある。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域社会体育事業									
番号	⑤	事務事業名	愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業	款	9	項	5	目	1	大事業	6	中事業	5
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成18年度	終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学、小・中・高生で構成する県内54市町村の代表者が、モリコロパークで行う愛知駅伝にて順位を競う。 市部門については、全38市である。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民に市町村の交流や広域で行うスポーツに親しんでもらうとともに市内の長中距離競技レベルの向上を図る。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		245	145	275	287
		決算		120	148	232	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 消耗品費						70	千円
② 愛知駅伝市代表選手出場記念品						45	千円
③ 食糧費						40	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市部門の順位向上	位	目標	35	32	28	28	20
		実績	33	29	33	20	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
市内在住、在勤、在学、小・中・高生で構成する県内54市町村の代表者がモリコロパークで順位を競う愛知駅伝で、市内の長中距離競技レベルの向上を図り、市の部において前年度の33位から20位となり大幅に順位が上昇した。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

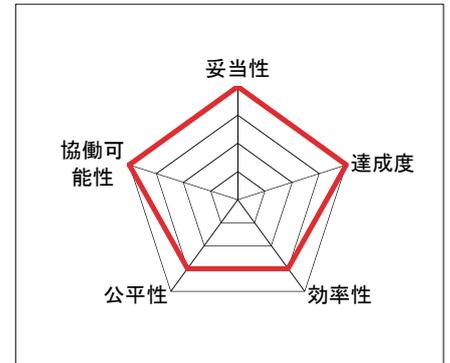
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度からは、長久手市体育協会に陸上部が発足し、選手の管理指導が行われている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
選手層を厚くすることと、安全が確立された練習場所を確保したい。また、代表選手に必要な要件である市内在住等に該当する者で、競技レベルの選手層がまだ低いことから、選手の育成、管理が必要である。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成27年度から長久手市体育協会の中に発足した陸上部が個人の目標タイムなどを設定した練習方法など確立したことから、選出された選手の個々の能力が上昇し、総合力が上がった。今年度は、市の部において20位となり、モリコロ賞を受賞した。安全が確立された練習場所については、今後も課題であり、継続して検討していく。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成17年度に開催された愛知万博を記念して、翌平成18年度から県内54市町村が参加し開催されている駅伝で、年齢別の選手が選出されるため、老若男女で楽しめる大会である。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
本市の人口は、5万人であるのに対し、他市は、人口も多く選手層も厚いため、代表選手全体のレベルの底上げが課題である。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
・順位上昇のため、競技人口や小・中学生の年代から育成を行い、選手層を厚くすることが必要である。 ・十分な練習が行える場所の確保が必要である。